

参考資料

分類名〔病害虫〕

参 22

宮城県におけるナシ黒星病の秋季防除の目安

宮城県農業・園芸総合研究所

要約

本県におけるナシ黒星病の秋季防除適期はりん片生組織の露出時期である10月上旬から11月上旬頃である。

普及対象：ナシ生産者及び指導者
普及想定地域：県内全域

1 取り上げた理由

ナシの栽培現地では、高品質果実の安定生産を妨げるナシ黒星病に対する適切な防除が課題である。

そこで、本病に対し、一次伝染源の除去方法として有効な秋季防除の適期を把握するため、本病害に感染しやすい時期とされる長果枝のりん片生組織の露出時期について現地調査を行ったところ、防除適期が明らかになったので参考資料とする。

2 参考資料

- （1） 秋季における「幸水」の長果枝りん片生組織の露出は10月上旬頃から増加し始め、11月上旬から中旬頃に最大となる（図1）。
- （2） 「幸水」の落葉率は10月中旬頃から増加し、10月下旬から11月上旬にかけて50%程度が落葉する。早いほ場では11月中旬以降100%落葉する（図2）。
- （3） 秋季防除適期は長果枝りん片生組織の露出が増加し始める10月上旬頃から、生組織の露出が最大になる前の11月上旬頃まで、樹上に葉が残っている状態の時期である（図1、2）。
- （4） 「豊水」、「あきづき」のりん片生組織の露出率は品種による差はあるが、露出率が最大となるのは「幸水」と同時期である（データ略）。

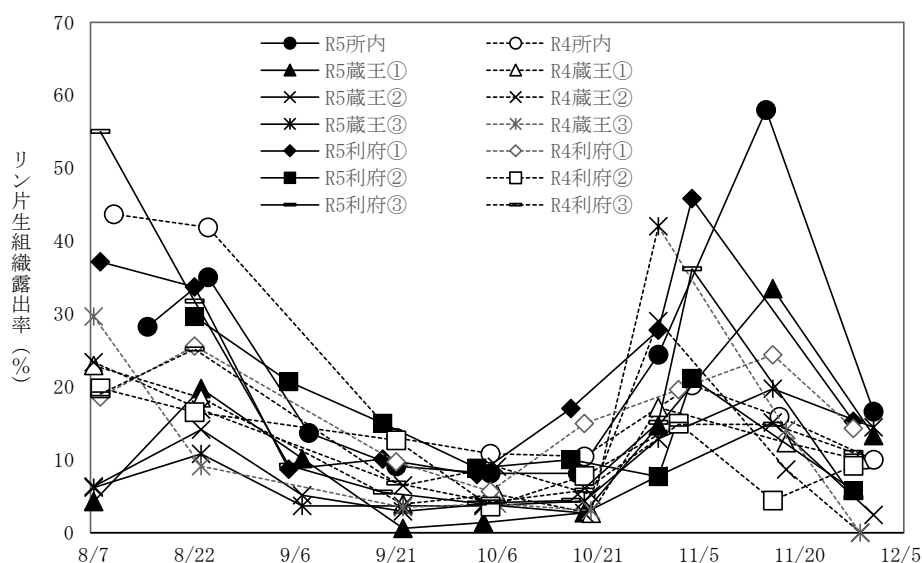


図1 「幸水」における長果枝えき芽生組織露出芽率の推移（所内、蔵王町3ほ場、利府町3ほ場、各令和4年、令和5年調査）

3 利活用の留意点

- (1) 栽培する地域や気象条件の年次変動により、えき芽生組織の露出時期や落葉に変動があるため、樹体を観察し防除適期を判断すること。
 - (2) 薬剤の使用に当たっては、最新の登録情報を確認する（独立行政法人農林水産消費安全技術センタートップページ：<http://www.famic.go.jp/>）。
- （問い合わせ先：宮城県農業・園芸総合研究所 園芸環境部 電話 022-383-8125）

4 背景となった主要な試験研究の概要

- (1) 試験研究課題名および研究期間
 - イ 園芸作物生産地における重要病害に対する防除技術の開発（令和4年、5年）
 - ロ 指定病害虫調査事業及び指定外病害虫調査事業（令和元年、2年、3年）

(2) 参考データ

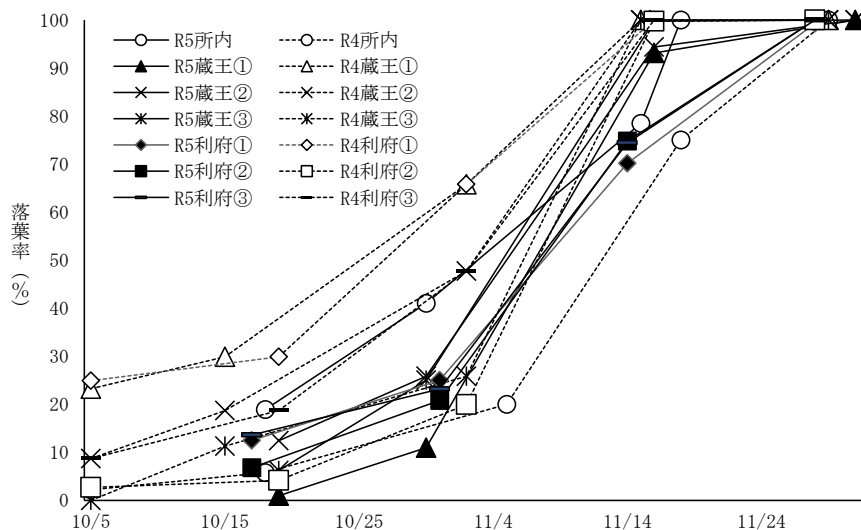


図2 「幸水」における落葉率の推移
 (所内、蔵王町3ほ場、利府町3ほ場。各令和4年、令和5年調査)

(3) 発表論文等

- イ 関連する普及に移す技術
 - 落葉処理によるナシ黒星病被害軽減効果宮城県(第94号参考資料)
- (4) 共同研究機関 大河原農業改良普及センター、仙台農業改良普及センター